

株主の皆様へ

第52期 年次報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

平成から令和へ、新たな時代へ向けて お客様と共に力強い歩みを続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。当社の第52期(2018年4月1日～2019年3月31日まで)の事業概要および実績をご報告するにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

昨年4月8日は、当社の創立50周年の大きな節目に当たり、社員一同、新たな決意で業務にまい進した結果、すべての事業で2桁以上の増益を達成、当会計年度の連結業績は、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益いずれも過去最高の実績となりました。これもひとえにステークホルダーの皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

当情報サービス業界では、働き方改革への取り組みをはじめ、企業の生産性や業務効率化を目的としたシステム更新需要が根強く、より効率的でコストパフォーマンスの高い情報システムが求められています。また、変化の激しい経済環境を背景に、スピーディーな経営情報の分析と決断を支える経営直結型のシステムが求められ、当社の強みである短期導入・早期稼働により“お客様の経営効果”を最大化するソリューション手法が、幅広い業界・規模のお客様から厚いご支持をいただきました。特に、自社運営のクラウドセンターで統合化された業務システムを一括してご提供する当社のサービスは、運用負荷やコストの削減、ビジネスのスピード化や事業継続対策にも直結するシステムとして高い評価をいただいております。

平成から令和へと新たな時代への期待が高まる中、当社は、お客様の企業価値を高め、経営効果を早期実現していただくという基本理念を全うするため、創業以来貫いてきたお客様第一主義、自社開発・直接販売、真のワンストップ・ソリューション・サービスからなる独自のビジネスモデルに一層の磨きをかけ、お客様満足度の向上と社会貢献を進めてまいります。お客様と共に新たな時代へ向けて力強く一歩を踏み出すオービックに、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長／CEO

野田 順弘



代表取締役社長／COO

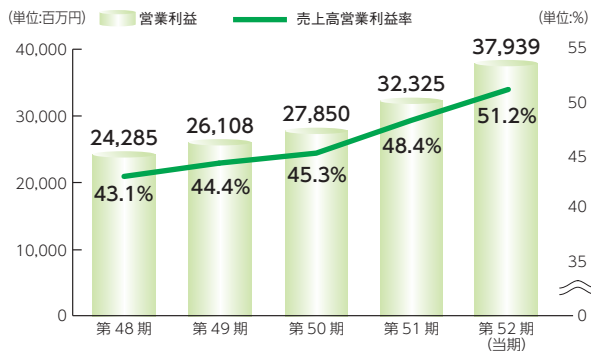
橘 昇一

決算ハイライト(連結)

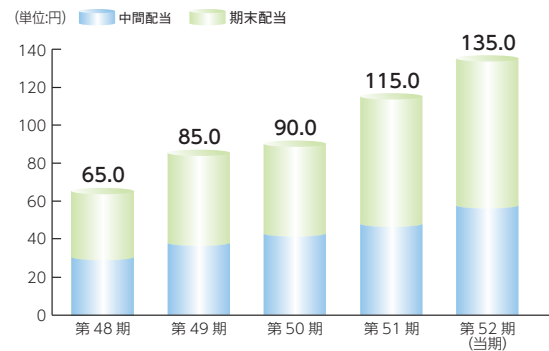
おかげさまで25期連続で営業増益を達成いたしました。

当期は、主力製品の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」をはじめ、業種・業務別ソリューションも、金融業・サービス業・流通業・製造業向け等、業種を問わず引き合いが強まりました。システムの短期導入・早期稼働につながるとして好評のクラウドサービス、システムサポート事業についても堅調な伸びとなりました。この結果、連結業績は、売上高741億63百万円、営業利益379億39百万円となり、おかげさまで25期連続の営業増益を達成いたしました。

■ 営業利益・売上高営業利益率の推移



■ 1株当たり配当



当期のトピックス

年3回の情報システムセミナーが盛況。
外部展示会・フェアにも積極的に出展。

お客様の業務改善や経営計画、新規事業戦略をサポートする、年3回、全国6事業所(東京・横浜・名古屋・大阪・京都・福岡)で開催している「情報システムセミナー」を当期も継続。消費増税対策などタイムリーな内容で大盛況でした。また、「会計・財務EXPO東京・大阪・名古屋」、「第9回クラウドコンピューティングEXPO春」、「ヒューマンキャピタル2018」など、外部の展示会等にも積極的に出展し、注目を集めました。



▲「ヒューマンキャピタル2018」



▲「第9回クラウドコンピューティングEXPO春」

業務改善からクラウド環境まで お客様のビジネス・経営全般を一貫サポート。

◎ 信頼の絆「ワンストップ・ソリューション・サービス」

第52期は、当社が創立50周年を迎えた大きな節目となりました。半世紀にわたりお客様と共に育み、磨き上げてきた当社独自のビジネスモデル、それが「ワンストップ・ソリューション・サービス」です。

お客様第一主義を基本理念に、コンサルティングから企画・システム構築・導入後の運用・サポート、さらには情報システム全体を支えるクラウド環境までの一切を自社一貫体制でご提供。お客様と一対一で向き合える“自社開発・直接販売”にこだわり、お客様が抱える課題や悩みを共有し解決を図るこの仕組みこそ、お客様と当社をダイレクトに結ぶ信頼の絆といえます。



◎ 企業経営を支えるすべてを自社クラウドで提供。

基幹システムである統合業務ソフトウェアはもちろん、豊富な業務システムのすべてを、「OBIC7」はクラウドで利用できます。「OBICクラウドサービス」は、暗号化された通信環境、多重化された基盤構成、複数世代バックアップなど、高度なセキュリティを実現。さらに東西にサーバーを分散させた東西リージョン体制など、災害対策も充実させています。

この「クラウドサービス」と当社の「ワンストップ・ソリューション・サービス」は、当期も業種や規模を問わず幅広い業界のお客様からご支持をいただきました。

主力製品／統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」

ERP市場ベンダー別売上金額シェア1位、 国内ERP累計導入社数16年連続No.1の実績。

当社の主力商品の一つ、統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、幅広い業界・規模の企業に導入いただき、ERP市場ベンダー別売上金額シェア1位^{※1}、国内ERP累計導入社数16年連続No.1^{※2}を達成しました。

※1：ERP市場ベンダー別売上高調査レポート（(株)アイ・ティ・アール調べ）

※2：2002～2017年ERP主要ベンダー（ライセンス売上高トップ10）における累計導入社数（(株)矢野経済研究所調べ、2017年12月現在）



1 経営効果

「会計」を軸に、各システムの連携を強化。
全体最適化と「経営効果」の最大化に貢献。

2 早期稼働

経営改革にスピードが最優先される時代に、
「クラウド」基盤で「短期導入・早期稼働」を実現。

3 業界ノウハウ

あらゆる業界・業種を網羅するソリューションを提供。
培ったノウハウと特許技術が高度な課題解決力を発揮。

4 業務標準化

「会計」目線で、業務プロセス全体を見直し、
「標準化・効率化」を強力に推進。

5 ワンストップ・ソリューション

開発・導入・「クラウド」環境まで自社一貫サポート。
真の「ワンストップ・ソリューション・サービス」で安定稼働。

当社グループの営業の概況

当社グループは、株式会社オービック(当社)および連結子会社1社ならびに関連会社3社等により構成されており、事業は主に企業情報システムのシステムインテグレーション(SI)事業、システムサポート(SS)事業、オフィスオートメーション(OA)事業および業務用パッケージソフト(PKG)事業を行っております。

なお、業務用パッケージソフト(PKG)事業については、関連会社で行っているため、事業のセグメントには含まれておりません。

◎ 営業の概況

当情報サービス業界においては、働き方改革への取り組みなどを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

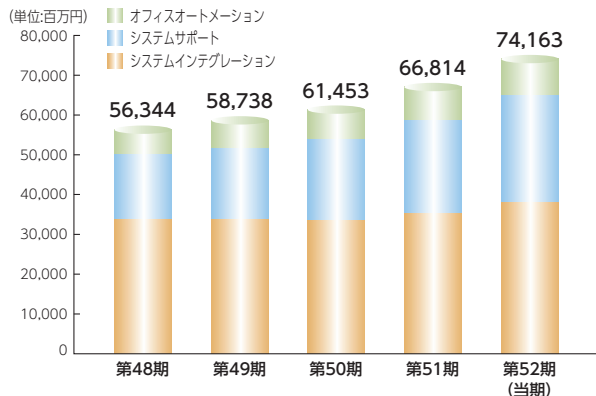
当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。業種・業務別のソリューションに関しても、金

融業向け、サービス業向け、流通業向け、製造業向け等、業種を問わずシステム構築の引き合いが強まりました。システムの短期導入、早期稼働につながりやすいとして引き合いが強まっているクラウドサービスのニーズにも、顧客に合わせた提案で対応しております。また、クラウド関連施設の増強や顧客向け研修施設の拡張など付加価値向上につながる先行投資も進めてまいりました。

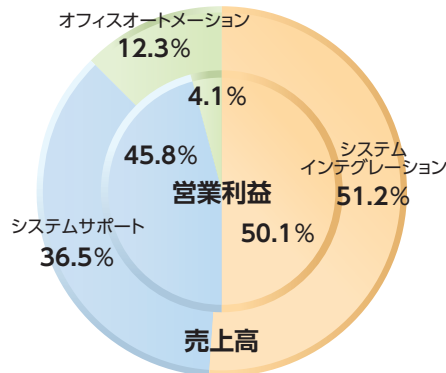
この結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高741億63百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益379億39百万円（同17.4%増）、経常利益は419億27百万円（同17.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は322億23百万円（同22.7%増）となりました。

今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいります。

◎ 売上高



◎ 売上高／営業利益構成



◎ システムインテグレーション(SI)事業

売上高

380億 5百万円

前年同期比 7.7% ↑

営業利益

190億 24百万円

前年同期比 13.0% ↑

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は380億5百万円(前年同期比7.7%増)、営業利益は190億24百万円(同13.0%増)となりました。



◎ システムサポート(SS)事業

売上高

270億 57百万円

前年同期比 15.5% ↑

営業利益

173億 64百万円

前年同期比 21.2% ↑

主力サービスであるシステムの「運用支援サービス」および「クラウドソリューション」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は270億57百万円(前年同期比15.5%増)、営業利益は173億64百万円(同21.2%増)となりました。



クラウドセンター



◎ オフィスオートメーション(OA)事業

売上高

91億円

前年同期比 12.4% ↑

営業利益

15億 50百万円

前年同期比 33.7% ↑

主力の業務用パッケージソフトの販売に加え、印刷サプライやオフィス家具等の販売も堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は91億円(前年同期比12.4%増)、営業利益は15億50百万円(同33.7%増)となりました。



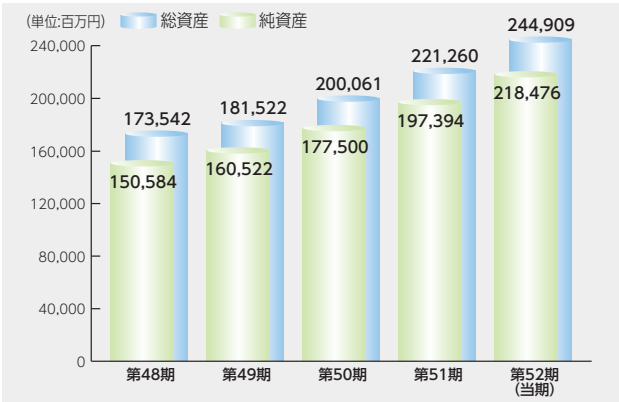
連結財務諸表

● 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前期	当期
		(2018年3月31日現在)	(2019年3月31日現在)
資 産 の 部			
流動資産		119,585	131,125
現金及び預金		109,458	119,972
受取手形及び売掛金		8,795	9,626
その他		1,331	1,526
固定資産		101,675	113,784
有形固定資産		37,814	47,747
建物及び構築物		2,994	3,012
土地		27,849	27,849
その他		6,970	16,886
無形固定資産		112	106
投資その他の資産		63,749	65,929
資産合計		221,260	244,909

● 総資産／純資産



(単位:百万円)

科目	期別	前期	当期
		(2018年3月31日現在)	(2019年3月31日現在)
負 債 の 部			
流動負債		16,671	18,981
固定負債		7,193	7,451
負債合計		23,865	26,432
純 資 産 の 部			
株主資本		191,649	212,752
資本金		19,178	19,178
資本剰余金		19,530	19,530
利益剰余金		175,078	196,183
自己株式	△	22,138	22,139
その他の包括利益累計額		5,745	5,723
その他有価証券評価差額金		7,406	7,553
土地再評価差額金	△	1,705	1,705
退職給付に係る調整累計額		44	124
純資産合計		197,394	218,476
負債及び純資産合計		221,260	244,909

● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	期別	(単位:百万円)	
		前期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	当期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		26,107	29,843
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 6,320	△ 8,209
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 8,450	△ 11,119
現金及び現金同等物の増減額		11,336	10,514
現金及び現金同等物の期首残高		98,121	109,458
現金及び現金同等物の期末残高		109,458	119,972

● 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	当期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
売上高		66,814	74,163
売上原価		22,296	23,221
売上総利益		44,517	50,941
販売費及び一般管理費		12,192	13,002
営業利益		32,325	37,939
営業外収益		3,357	4,270
営業外費用		111	282
経常利益		35,570	41,927
特別利益		888	2,060
特別損失		133	2
税金等調整前当期純利益		36,325	43,985
法人税等		10,057	11,762
当期純利益		26,268	32,223
非支配株主に帰属する当期純利益		—	—
親会社株主に帰属する当期純利益		26,268	32,223

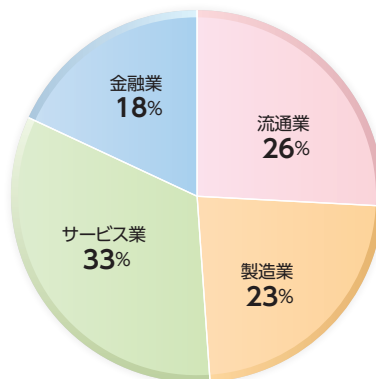
● 連結株主資本等変動計算書(要旨)

当連結会計年度(2018年4月1日～2019年3月31日)

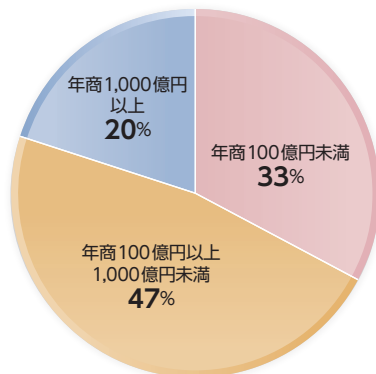
(単位:百万円)

純資産合計	
当期首残高	197,394
当期変動額	
剰余金の配当	△ 11,118
親会社株主に帰属する当期純利益	32,223
自己株式の取得	△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 22
当期変動額合計	21,081
当期末残高	218,476

● 販売先情報(業種別)



● 販売先情報(規模別)



会社概況 (2019年3月31日現在)

社 名	株式会社オービック
設 立	1968年4月8日
資 本 金	191億7,880万円
社 員 数	2,058名(連結)
主要事業	システムインテグレーション事業 システムサポート事業 オフィスオートメーション事業
事業所	東京本社 大阪本社 横浜支店 名古屋支店 京都支店 福岡支店 北関東支店 松本営業所 静岡営業所 広島営業所
グループ会社	株式会社オービックオフィスオートメーション 株式会社オービックビジネスコンサルタント 他2社

役員 (2019年6月27日現在)

代表取締役会長	野 田 順 弘
代表取締役社長	橘 昇 一
常務取締役	川 西 篤
取締役相談役	野 田 みづき
取締役	藤 本 隆 夫
取締役	井 田 秀 史
取締役	上 野 剛 光
社外取締役	五 味 康 昌
社外取締役	江 尻 隆
常勤監査役	小 屋 町 朗
社外監査役	坂 和 章 平
社外監査役	長 尾 謙 太

株式の状況 (2019年3月31日現在)

●発行可能株式総数	398,400,000株
●発行済株式の総数	99,600,000株
●株主数	3,479名
●外国人持株数	37,517,136株
●少数特定者持株数	59,211,540株
●浮動株数 (1単元以上50単元未満の合計)	1,580,463株
●投資信託株数	4,829,490株
●年金信託株数	1,072,700株

●大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ノダ・マネジメント	16,909	19.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	8,143	9.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	6,280	7.06
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	4,338	4.87
エスエスビーティーシー クライア ント オムニバス アカウント	2,998	3.37
野田 順弘	2,881	3.23
野田 みづき	2,781	3.12
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	2,318	2.60
ジェーピーモルガンチエース オープンハイマー ジャスデックレンディングアカウント	1,787	2.00
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,223	1.37

(注) 1.当社の所有する自己株式10,649千株は、上記の表には含めておりません。
2.上記信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式を含んでおります。
3.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主 確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 方 法	電子公告により行う 公告掲載 URL http://www.obic.co.jp

東京に新たな研修センターを開設、 オープン初年度から大盛況となりました。

東京本社に隣接するビルに、新たに「研修センター」を開設。「OBIC7シリーズ」などを導入するお客様向けに、システムを活用し業務効率・経営効果を最大限に発揮させるための研修や実習を、充実した環境でご提供し、顧客企業のデジタル化を支援。この新サービス事業はご好評を博し、初年度から予想を上回るお客様にご利用いただきました。



2020年1月、新たなビジネス拠点 「オービック御堂筋ビル」が竣工予定。

当社創業の地大阪に、2020年1月「オービック御堂筋ビル」が竣工予定。大阪市中央区平野町4丁目のオフィス街に建つ地上25階、地下2階、最先端の機能を満載した超高層複合ビルには、大阪本社をはじめとするオフィスや多目的ホールのほか、ロイヤルパークホテルズが関西地区における宿泊主体型のフラッグシップホテルを開業予定です。





photo by ©Yoshihiro Iwamoto

株式会社 **オービック**

Web サイト www.obic.co.jp

東京…〒104-8328 東京都中央区京橋 2-4-15

TEL 03-3245-6500

大阪…〒541-0059 大阪市中央区博労町 3-5-1 (御堂筋グランタワー) TEL 06-6245-3231